

◆ 平成26年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 環境サポート埼玉

代表者：代表理事 小室 大

URL :

1. 活動が必要とされた状況

環境問題は自分たちの暮らしに直接結び付いた問題であり、取り組みも日常的なごく普通の行動や活動である。地域の水辺に親しみながら、水質、生物等の調査を通じ、体験的に環境問題を学習する機会を提供したいと計画した。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

実施時期 2014年8月21日（木）～22日（金）

参加人数 坂戸市内小学校など1～6年生、中学2年生 28人参加



活動内容

①高麗川の水質調査（新戸口橋上流地域）：高麗川の水を採取し、パックテスト（化学的酸素要求量）により水質状況を調査するとともに、持参した家庭生活排水についてパックテストを行い、河川などに与える影響を学習



②高麗川（新戸口橋周辺地域、橋下上流100m以内）に棲む小魚や底生生物の調査：調査地点で魚類、底生生物を採捕し、生息状況を調査



③新戸口橋周辺のごみ拾い

④体験学習の成果を中心とした内容を夏休みの自由研究としてまとめる。

3. 活動の成果

第6回目の事業実施として、所期の成果を収めたものと評価している。参加した子どもたちの中にはリピーターもあり、全員生き生きとして積極的に活動し、学習態度も活発、熱心であった。

過去に参加した中学生は、今回、子どもたちの活動サポートした。

アンケート調査においても環境への関心を深めるよい結果が出ている。

この種の参加型の体験学習事業は教育的要素が強いことから、今後も継続して実施することにより、より多くの成果が得られるものと考えられる。

4. 今後に残された課題

①天候の影響を受けやすい事業であることから、計画どおりできない場合の代替的な活動内容を検討する必要がある。

②子どもたちの達成感をさらに高めるよう、引き続き検討を加える。参加を契機に環境を意識した生活への変化が把握ができればさらによい。

③事業実施の自主財源確保に努め、継続性を高めていく必要がある。